

令和4年度 GIGA校内研修 実践報告

学校名 (野々市市立富陽小学校)

月	研修テーマ[研修形態]	担当	関連する行事等
4月	・GIGA開きをしよう[希望制] ・クラスルームを活用しよう[希望制] ・ジャムボードを使おう[希望制] ・スライドを使おう[希望制] ・Googleフォームを作ろう[希望制]	GIGA推進リーダー 〇〇	
5月	・電子黒板を使おう[希望制] ・ドキュメントを使おう[希望制] ・カフートを作ろう[希望制] ・デジタル教科書を使おう[希望制] ・AIテキストマイニングを使おう[希望制]	GIGA推進リーダー 〇〇	学校訪問 児童会集会
6月	・児童会活動でGoogleサイトを活用しよう[希望制] ・思考ツールの活用の仕方を知ろう[希望制] ・動画編集の仕方を知ろう[希望制] ・共有ドライブを使おう[希望制]	GIGA推進リーダー 〇〇	児童会集会
7月	・ミライシードの概要[全体研] ・オクリンクを使おう[希望制] ・ムーブノートを使おう[希望制]	GIGA推進リーダー 〇〇	タイピング強化週間 児童会集会
中間目標	<p>G Suite for Educationの大きな機能を理解し、授業で活用することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 共同編集機能を活用することができる。 グループフォームを作ることができる。 ジャムボードの背景を変更し、効果的な活用を行うことができる。 		
8月	・1学期の実践紹介[全体研] ・ミライシードの活用の仕方[全体研]	GIGA推進リーダー 〇〇	全体研
9月	・ドリルパークを使おう[希望制] ・オクリンクを使おう[希望制] ・ムーブノートを使おう[希望制]	GIGA推進リーダー 〇〇	
10月	・公開研究発表会の授業を見て情報共有をしよう(全体研) ・CD音源をデータ化する方法を知ろう[希望制] ・Meetの使い方を知ろう[希望制]	GIGA推進リーダー 〇〇	公開研究発表会 運動会
11月	・オクリンクを使おう[希望制] ・ムーブノートを使おう[希望制]	GIGA推進リーダー 〇〇	児童会集会
12月	・オクリンクを使おう[希望制] ・ムーブノートを使おう[希望制]	GIGA推進リーダー 〇〇	児童会集会
中間目標	<p>ミライシードの機能を知り、協働学習に向けた活用をすることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「オクリンク」を活用して、個人思考、グループ思考の場を設けることができる。 「ムーブノート」を活用することで、児童の意見を瞬時に把握したり、意見を共有したりすることができる。 		
1月	・2学期の実践紹介[全体研]	GIGA推進リーダー 〇〇	全体研
2月	・ドライブの整理の仕方を知ろう[希望制]	GIGA推進リーダー 〇〇	タイピング強化週間 6年生を送る会 児童会集会
3月	・GIGA終わりをしよう[希望制]	GIGA推進リーダー 〇〇	
目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」			
<ul style="list-style-type: none"> 教師が学校業務や授業の中で、ICT端末をじゃぶじゃぶ活用することができる。 教師が授業のねらいに迫るために、ICT端末を活用をすることができる。 <p>ICT端末を活用する場面の視点</p> <p>①課題を明確にするために ②課題解決に向けた活動にするために(個人)</p> <p>③思考や理解を深めるために(交流) ④学びをつなげるために(まとめる・ふり返り)</p> <ul style="list-style-type: none"> 教師がG Suite for Educationとミライシードの機能の一長一短を理解し、目的に応じて使い分けすることができる。 児童が学年相応のタイピング能力を身につけ、文章をキーボードで入力することができる。 			

希望制の研修を充実させて、
教員のニーズに合わせた研
修を実施している。

学期ごとに実践した内容を全
体で紹介し合うことで学校全
体で良事例を共有している。

学校全体でじゃぶじゃぶ活用
するを合い言葉として、活用を進
めた結果、非常に多くの成果を
得ることができている。

成果

- ・「教師や児童が一人一台端末を活用する場面を一日一回以上授業の中で設定することができたか」という質問に対し、「できた」「まあまあできた」と答えた教員の割合は72.2%であった。この結果から、本校において多くの教員が授業中における端末の活用ができていていると考える。
- ・校内研修の多くは全員参加型の研修ではなく、希望制の研修を行った。短い時間でいい、必要な人だけが参加したことで、教員間のICT活用の差を縮めることができた。
- ・GIGA校内研修と学校研究を連動させていることで、学年会で端末の活用について話し合ったり実践の共有を行ったりすることができた。
- ・タイピング週間(3~6年生対象)を設けることにより児童のタイピングスキルが向上し、1分間あたりの入力文字数平均はどの学年も60文字を超えた。1分間の入力文字数60文字は実務レベルの基準であることから、日常的な端末活用において不都合がない程度以上の実力がついたと言える。
- ・今年度新しく導入されたミライシードの機能について、全体研修や希望型研修をはじめ、学年会での積極的な情報共有により、どの学年でも授業で積極的に活用する姿が多くみられるようになった。

課題

- ・研究授業の単元では学年そろった端末の活用ができていたが、日々の授業の中では使用頻度に差がある。
- ・各学年の実践を紹介する場が学期始めの全体研修会しかなかったため、必要な時期に早く共有することができなかった。来年度はGoogleのSpacesを活用し、全学年で日常的に情報共有ができるようにしていきたい。